

## 小中一貫教育 平成25年度前期（中間総括）

～ 7校区の学校運営評議委員会・推進会議資料より ～

### ■何事にも本気で取り組む子どもの育成【玄海中学校区】7／17

#### 《1学期学校評価アンケート（保護者）》

- 楽しい学級・学校にするため友達に優しくしたり助けたりしている。(85%+8)
- 学習のきまりを守って学習している。(78%→+8)
- 規則正しい生活をしている。(80%→+10)
- 小学校間、小中学校間での交流が進んでいる。(74%→+31)
- ※ 高い評価をいただくようになった。学校の取組を知らせていく。
- ※ 職員の評価はまだ低い。(今年度赴任してきた職員からみるとまだまだなのだろう。)
- ※ 今年度、校区内の交流が進んでいることが保護者にとても評価されている。

### ■考え方、つなぎ合う自由ヶ丘っ子の育成【自由ヶ丘中学校区】8／6

「考える力」「心の力」「かかわる力」を身に付けた子ども

#### 《1学期学校評価（児童・生徒）》

- うなずいたり、相づちを打ったりするなど反応しながら聞いている。(2.3→2.4)
- 言いたい事が伝わるように最後まで自分の考えをはつきり話している。(2.1→2.2)
- 授業後、今日は何を学習したか、自分がどのように変わったかわかる。(2.4→2.5)
- 失敗を恐れずに様々なことにチャレンジしている。(2.3→2.4)
- ※ 多くの項目で期待値を達成することができた。学校が家庭地域と協力して取り組んできた成果と考えられる。
- ※ 自尊感情を高めるための仲間作り部会を中心とした取組が必要である。

### ■豊かな心と健やかな体をもち、自ら学び実践しようとする児童生徒の育成

「考える」「関わる」「感動する」を大切にする教育活動づくり 【河東中学校区】5／7

#### 《前期の取組から》

- 10の教科部会と担当者会で、各教科の専門性を生かした授業研究を実施
- 5／29「平成25年度 第5回 子どもサミット」
- ※ 協議内容：プルタブ集め・挨拶運動・新「河東こう君の誓い」（3校から提案）

■豊かな心をもち、考えを高め合うたくましい子どもの育成【城山中学校区】8／6

「3つのJ」(自主:学ぶ意欲、自立:規範意識、自信:自己存在感)「連携事業」「組織運営」

《1学期学校関係者評価》

□子どものそだちにつながる家庭や地域との連携が進んでいる。(2.45→2.67)

□小小交流や小中交流などの4校の連携が進んでいる。(2.40→2.60)

※ 4校の連携が進んだと実感できており、子どもの良さを認め、励ます教師の姿がある。一方で子どもの自己存在感や「組織運営」が今後の課題であるととらえ、校区全体で取組を進めている。

■目標を持ち、自ら考え、行動し、ねばり強くやり通す、心豊かで健康な子どもの育成

3校共通の重点目標「家庭学習」「あいさつ」「そうじ」 【中央中学校区】6／24

「学びの一貫性」を大切にする取組 「3つのT」・・・指導方法の一貫

《保護者アンケート》

□学校に楽しく行っている。友達と仲良くすることができている。(3校とも95%以上)

□兼務教員の指導が小中一貫の充実につながっている。(中:81.9%) (小:92.7%86.6%)

※ 小中一貫の充実につながる兼務教員の指導については、小学校で数値が高い。  
中学校においても上がってきており、継続的な取組がのぞまれる。

※ 3校統一した生徒指導では、今後も発信していく。

「生徒指導の手引き部会」「中央中学校区 みんなの作法〈あいさつ〉〈そうじ〉」

■自分を確立し、共に生きる児童生徒の育成【日の里中学校区】7／26

「クリエイト:知識、考え方、行い方を創り出す子ども」

「コミュニケーション:他者を思いやり伝え合う子ども」

「チャレンジ:健康で強い自分づくりに挑戦する子ども」

《保護者アンケート》

※ 良い人間関係が育っていること、学校が楽しいと思っていることについて保護者評価におけるポイントが全体的に伸びている。学校が子どもを安心して任せられる信頼できる場所になっていると考えられる。

※ 「思考判断・基礎基本の習得」「学習準備」の結果から、学力の定着に不安があるので、解消に向けて努力・改善をしている。

(家庭学習チャレンジ10、自学ノート、認定、補充学習、英単語力定着の取組、理科の復習授業など、丸つけ隊等)

## ■大きな心で、しっかり学び、何事にもまけない子どもの育成【大島中学校区】7/18

15の春で親元を離れ、大島を離れて高校生活を送る子どもにつけなくてはならない力

「学力：志望する高校に合格できる力」

「生活力：親に頼らず自活する力」

「表現力：大人数の中でも表現できる力」

### 《学校関係者評価より》

□前期・中期・後期を意識した教育活動の展開ができている。→(3.2)

□家庭や地域・コミュニティと協力しながら、地域行事への参加協力や、地域人材の活用をすることができている。→(3.6)

□学習が遅れがちな子の指導に、個人カルテ等を活用して日常的な支援をすることができている。(個別指導・学力補充) →(3.2)

□掃除の仕方や後始末、能率的な協働活動について指導ができている。→(3.2)

※ 少人数のメリットを生かした学習の取り組みに加え、子ども自身に自分の伸びと課題を整理させ、目標を持たせて鍛えていく。

※ 家庭と連動した「学びと生活のすすめ」の活用を促進して、学力の向上につなげる。

\*\*\*\*\*

### 【成 果】

○ 小小連携、小中の接続が充実したと実感している保護者・教師が増えた。

○ 各校区の特色を生かした取り組みが充実してきている。

○ 各学校の協力で、兼務教員の成果が認められ、システムが浸透してきている。

○ 連携強化のシステムのスリム化が進み、教職員の負担軽減につながっている。

○ 家庭・地域との連携が進み、家庭学習や地域人材の活用につながっている。

### 【課 題】

○ 各校区のよさと課題を明確にして、交流しながら全体を発展させていく。

○ 校内の組織マネジメントの充実を図り、校区の連携を強化することで、よりよい小中一貫教育のシステムにつなぐ。

### 【今後に向けて】

○ 「自立とかかわり」をテーマに、集中して学び、笑顔で友達とかかわり、成長していく子どもたちの姿をめざす。

○ それぞれの校区の取り組みとよさを、家庭・地域、市民へアピールし、発展させていく。



平成25年度 「研究発表の日(10月25日)」教育委員会参加校一覧

平成25年10月9日

	学校	担当 (会場責任者)	会 場	井上 委員長	川上 委員	平田 委員	中間 委員	久芳 教育長	高橋 部長	柴田 部長	後藤 理事	岡田 課長	羽田野 指導事 務	西島 指導事 務	正路 指導事 務	石橋 室長	森内 相談員	田中コ ーディネーター	合計
1	玄海 中学校	西島 (西島)	※全体会 会場	△ 4	△ 4	△ 4	● 4	△ 4	△ 4	△ 4	● 4	● 4	● 4	● 4	△ 4	△ 4	△ 4	4	
2	玄海 小学校	正路 (正路)									● 4					● 4			4
3	地島 小学校	正路 (正路)									● 4					● 4			3
4	玄海東 小学校	羽田野 (羽田野)									● 4					● 4			4

